

第 3 回 定 例 会

市 長 行 政 報 告

令 和 6 年 9 月

北 広 島 市

令和6年第3回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 交通安全対策について

まず始めに、交通安全対策についてであります。令和5年1月3日以降、610日間、交通事故死ゼロがつづいていたところでありますが、令和6年9月4日に交通死亡事故が発生したところであります。

亡くなられた方にお悔やみを申し上げますとともに、今後につきましても、交通事故死ゼロを目指し、関係機関と連携し、交通安全活動の推進に取り組んでまいります。

2 原油価格・物価高騰対応について

次に、原油価格・物価高騰対応についてであります。これまで、国の交付金等を活用し、経済回復に向けた取組や物価高騰の影響を緩和させる取組等を実施しているところであります。

北広島市低所得者世帯給付金につきましては、令和6年度新たに住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯となった世帯に対し10万円を支給するものであり、7月29日から受付を開始し、8月31日現在、690世帯に対して、6千900万円を支給したところであります。

18歳以下の児童がいる支給対象世帯に対し児童1人当たり5万円を支給するこども加算につきましては、8月31日現在、67世帯に対して、595万円を支給したところであります。

定額減税補足給付金につきましては、定額減税対象者のうち、減税しきれないと見込まれる方に対し、減税しきれない額を1万円単位に切り上げて支給するものであり、7月29日から受付を開始し、8月31日現在、7,036人に対し、3億1千815万円を支給したところであります。

また、市内在住の65歳以上の個人市民税所得割課税の方に対し5千円分のプリペイドカードを支給する高齢者生活支援物価高騰対策事業につきましては、8月末までに6,260人に配布し、2千740万円の利用があったところであります。

物価高騰等の影響により低迷している市内消費を喚起するキャッシュレス決済キャンペーン事業につきましては、8月末までに市内において8千480万円のキャッシュレス決済の利用があったところであります。

3 北広島市パートナーシップ宣誓制度について

次に、北広島市パートナーシップ宣誓制度についてありますが、性的マイノリティの方の日常生活における困難や生きづらさの軽減を図るものであり、10月1日の運用開始に向け、6月以降、道内自治体との連携協定の締結、市民や関係機関への周知を行うとともに、9月17日から事前予約の受付を開始するところであります。

本制度の導入により、多様な性のあり方への理解が進み、一人一人が互いの人権を尊重し、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に寄与するものと考えているところであります。

4 JR新駅の整備について

次に、JR新駅の整備についてありますが、令和6年第2回定例会において、JR新駅整備の工事費に係る予算案が可決されたことを受け、7月11日付けでJR北海道と「千歳線西の里・北広島間新駅設置に関する工事施行協定」を締結したところであります。

今後につきましては、秋頃から本格的な工事に着手する予定となっており、令和10年の出来る限り早い時期の開業を目指し進めることとしているところであります。

5 第43回北広島ふるさと祭りについて

次に、第43回北広島ふるさと祭りについてであります。7月13日、14日の2日間、市役所駐車場及び市民交流広場を会場に飲食店の出店、多彩なステージや子ども盆踊りなどの参加型プログラムが催されたところであります。

13日には、市庁舎5階テラスを開放しエスコンフィールド HOKKAIDO で開催されたファイターズ50周年花火大会を多くの方々に楽しんでいただけたところであります。また、北の酒まつり in きたひろしまも同日に開催されたところであります。

両日を通じて、小さなお子さまや中高生を含め幅広い世代の方々にご来場いただき、昨年に増して、賑わいあふれる祭りとなったところあります。

各地区においても、それぞれ地区祭りが開催されたところであり、賑わいと多くの交流がうまれたところあります。

6 日本子育て支援大賞2024の受賞について

次に、日本子育て支援大賞2024の受賞についてであります。このたび、一般社団法人日本子育て支援協会が選ぶ「日本子育て支援大賞2024」の自治体部門において、本市が大賞を受賞したところであります。

本大賞は、企業部門、自治体部門の2部門からなり、本市は北海道ボールパーク・Fビレッジを拠点とした官民連携による開発をきっかけに、子育て支援策が充実・進化している点が高く評価されたところであります。

引き続き、子育て世帯に魅力的であると感じていただけるよう、子育て施策の充実に取り組んでまいりたいと考えているところであります。

7 札幌日本大学高等学校の甲子園出場について

次に、札幌日本大学高等学校の甲子園出場についてであります。7月21日にエスコンフィールド HOKKAIDO で開催された第106回全国高等学校野球選手権大会南北海道大会において初優勝を果たし、南北海道代表として、8月7日から開催された第106回全国高等学校野球選手権大会に出場されたところであります。

市内の高校が夏の甲子園大会に出場するのは初めてのことであり、7月24日には、市役所において選手から南北海道大会の優勝報告を受けるとともに、同校の甲子園大会出場を祝う懸垂幕、横断幕、看板を市庁舎やエルフィンパークなど、市内6カ所に掲示し、選手たちの活躍を祈念したところであります。

惜しくも初戦で敗退しましたが、最後まで粘り強く戦う姿は多くの人を勇気づけ、夢と感動を与えてくれたところであります。

8 北海道ボールパーク・Fビレッジ構想の推進について

次に、北海道ボールパーク・Fビレッジ構想の推進についてであります。7月23日に開催されたマイナビオールスターゲーム2024第1戦では、道外から多くの野球ファンの来訪が見込まれたことから、JR北広島駅周辺やエルフィンロードにオールスターゲーム仕様ののぼりの設置や、エルフィンパーク内において北広島高校との連携による書道の横断幕を用いたお出迎えなどを実施したところであります。

ファイターズ応援観戦バスツアーについてであります。自宅からFビレッジまでの交通手段に限られる地区の方など、より多くの市民の方に野球観戦を体験してもらうことを目的として、8月15日に、大曲地区の方を対象として開催をしたところであり、当日は185人からの応募があり、37人が参加したところであります。

今後も他地区での開催も含め、観戦機会の創出に向け、検討を進めてまいりたいと考えているところであります。

ライドアラウンド北海道ボールパークFビレッジについてであります。オール北海道ボールパーク連携協議会・食と観光分科会の取組として、8月15日から10月15日までの2か月間にわたり開催しているところであります。

全7市町が自転車周遊スポットの舞台となっており、スマートフォンの位置情報を利用して、スポットを訪れ、グルメを楽しむことでポイントを獲得し、特典と交換できるイベントとなっているところであり、多くの方に秋のサイクリングを楽しんでいただきたいと考えているところであります。

今後につきましても、球団や関係機関と協議を行いながら、F ビレッジを通じたより良いまちづくりを推進してまいります。

9 粗大ごみ等のリユース活動等の促進に向けた連携協定について

次に、粗大ごみ等のリユース活動等の促進に向けた連携協定の締結についてありますが、本市と民間企業がそれぞれの資源や機能等を活用し、北広島市内のリユース活動等を促進することで、廃棄処理量の削減、循環型社会の形成等に資することを目的に、株式会社マーケットエンタープライズと8月に協定を締結したところであります。

本協定の締結により、粗大ごみ等のリユースや小型家電のリサイクルの促進することで、ごみの排出を抑制するとともに、ごみの減量に対する意識のさらなる向上に繋げてまいりたいと考えております。

10 「ダンチャレ!!2024」の開催について

次に、「ダンチャレ!!2024」の開催についてであります。北海道日本ハムファイターズとの連携によるスポーツアカデミー事業として、令和3年度から実施しており、本年は9月7日にエスコンフィールドHOKKAIDOで開催される試合の中盤において、市内の小学生100人がグラウンド上でYMCAダンスを披露する予定となっているところであります。

発表に向けては、星槎道都大学ダンス部の皆さんにご協力をいただき、練習を重ねたところであり、当日は、エスコンフィールドの大観衆の前で発表に臨むところであります。

子どもたちに貴重な体験の場をご提供いただいた、ファイターズをはじめ関係機関の皆様に感謝を申し上げます。

1 1 農作物の生育状況について

次に、農作物の生育状況についてであります。7月下旬及び8月下旬の降水量は一時的に多くなることがあったものの、日照時間はやや多く、気温は平年より高めに推移していることから、農作物は、全体的に早く生育しているところであります。

1 2 ごみ処理に係る差額シール使用期限の延長について

次に、ごみ処理に係る差額シール使用期限の延長についてありますが、令和6年4月からのごみ処理手数料改定に伴う経過措置として、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間、差額シールを貼っていただくことで旧指定ごみ袋を使用できることとしているところであります。

現在、各家庭において旧指定ごみ袋を消費しきれていない状況であることから、経過措置として、差額シールの使用期限を令和8年3月31日まで延長することとしたところであります。

13 令和6年4月から6月までにおける寄附について

次に、令和6年4月から6月までにおける寄附についてであります。 「ふるさと納税」につきましては、個人からの寄附が、1,633件、3,606万円、企業からの寄附が、4件、750万円、その他の現金による寄附につきましては、5件、155万円となり、合計で1,642件、4,511万円の寄附をいただいたところであります。

ご寄附をいただきました皆様に心から感謝を申し上げるとともに、本市のまちづくりのため、大切に活用させていただきたいと考えております。

以上申し上げ、行政報告といたします。

• •